

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和5年度第14回政策会議
開催日	2024年(令和6年)1月4日(木)9:00~9:06
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長、和田副市長、宮治副市長、岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路河川部長、下水道部長、市民病院事務局長、消防局長、教育部長、議会事務局長、監査事務局長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市長、副市長、教育長あいさつ</p> <p>鈴木市長</p> <p>○今年甲辰という年で前は60年前でその時は東京オリンピックが開催され、それに伴って新幹線が初めて開通し、経済的、人々の暮らしも昇り竜のように良くなったという印象がある。今年もそういった60年ぶりの年であり、コロナも5類に移行して新しいスタートを切り、更に成長していくような年でありたいとの思いと市政の成長との思いから今年の漢字は振興の「興」とした。今年もよろしく願いたい。</p> <p>和田副市長</p> <p>○元日から地震、2日には羽田空港での事故があり、大きい災害、事故からのスタートになってしまった。本市には直接の影響はないが、明日は我が身で気を引き締めなければいけないなという思いである。</p> <p>○2月に市長選を控えている。新年でお酒を飲む機会も多くなるが、十分注意をしていただきたい。また職員にも共有をしていただき、気を引き締めてスタートを切っていただきたい。</p> <p>宮治副市長</p> <p>○石川県の星稜高校が全国高校サッカー選手権に出場しているが、地震の影響で星稜高校の学校応援団は集まることができず、それを知った日大藤沢高校サッカー部員が星稜高校を応援した。非常に迅速な対応をし、明るい良いニュースが伝えられている。昨年、藤沢市役所も東海道線の事故のときに、迅速で柔軟な対応をし、市民から大変高い評価をいただいている。今年もこういったニュースが沢山あるといいと思っている。</p> <p>○能登の地震で様々な首長からトイレが足りない、物資が届かないと</p>

いうニュースが伝えられている。能登は元々地震が多い地域なので、恐らく訓練も行ってきたと思うが、やはり実際に地震が起きると、中々うまくいかないのが災害であると感じた。今年も様々な訓練を行うと思うが、年末年始に読んだ本で「訓練は順調にやるのではなく、不具合を見つけ出してそこを直して本番に生かすのが訓練である」と書いてあり、改めてそう感じた次第である。今年1年良い年になるよう、皆様と過ごしていきたい。よろしくお願ひしたい。  
岩本教育長

○各部局も同じだと思うが教育部は今年も課題山積である。特に教育界は、いじめ、不登校や教員の不足が課題である。本市においては学校の老朽化、人口増による教室の不足等、本当に挙げればきりがなくらい課題が押し寄せているような状況であるが、立ち向かっていきたいと考えている。そのためには職員のチームワーク、雰囲気大事だと考えている。今年も各部局に協力いただくことがあるかと思うが、市内の子どもたちのために協力をお願いしたい。

### 3 その他

○能登半島の地震については、大きな被害が出ていることが分かっているが、刻々と情勢は変わっている。本市としては、福井、石川、富山、新潟に協定市はないため、相互支援協定に基づく支援はない状況である。既に各部局に応急危険度判定、保健所の保健師、DMAT等の待機要請、派遣要請等がある。また募金も始まるので一旦、防災安全部で情報を集約する旨の通知を出させていただく。そのような情報があれば一報をいただき、調整をさせていただきたい。また今後、人的支援や財務的支援の必要性も出てくると思うので、関係部局に協力をお願いしたい。

### 4 閉会